

備後

bingo kyokuhō

教区報

第 187 号

2025(令和7)年3月31日



本山御正忌に 教区で団体出勤

CONTENTS

- ◇ 備後教区 本山団体出勤
- ◇ 僧侶研修会 (入澤 崇先生)
- ◇ 人権に関する連続研修
- ◇ 佛青お寺de縁結び (世羅)
- ◇ 少年ウォークラリー (尾道)
- ◇ News & 活用情報
- ◇ 予報インフォメーション



(表紙) 本山御正忌要



御正忌報恩講(本山)に備後で

本年1月9日、本願寺御正忌報恩講にあたり、備後教区では教区内に人員をつのり、備後法中の団体出勤が行われた。教務所長、教区会議長、組長会長をはじめ、教区内僧侶の25名が京都のご本山に集い、御正忌法要初日速夜法要(大師影供作法)に、列衆および奏楽員として出勤し、ご勝縁に遇った。(文責・教区報専門委員)

蓮如上人は、一年に一度は必ずご本山にお参りしましょう、ということとを仰せになりました。

御門徒の方にお寺にお参りに来てください、と言うように、寺院・僧侶の者も、ご本山にお参りしましょう。こういった趣旨で、このたびの教区団体出勤という企画が立ち上がりました。

有志・発起人の一人で教区勤式指導員でもある和泉裕生住職(神石組正光寺)は「御正忌に参拝したことはあっても衣体をつけて出勤したことがない方はたくさんおられる。皆さんにご本山の声明を体感していただきたいと思った。ご本山のおつとめにあうことで、声明や雅楽が自己流になっていないか省みる契機にもなるし、御正忌ならではの荘厳やお供物を間近に見ることもできて勉強

になる」と語られた。

このたびは教区が取りまとめて事前申し込みを行い、御正忌の初日にあわせて現地集合・受付を行い、それぞれ列衆と讃嘆衆として法要出勤をおこなった。参加者からは「余間に掛けられた御絵伝の近くに座っていたので、ご門主様が厨子に登壇されて、御親影の扉を開かれるのを間近で拝見させていただいた。驚きと感動があった」

「(周囲から、今年は)お参りが多いな、どうしたんやろ。という声が聞こえて誇らしい気持ちになった。それと同時に、毎年こうしてお参りして支えてこられた方々があつて成り立っているのだと感じた。」などといった声が聞かれた。周知をすすめ、来年以降も備後教区の公式行事として続けていきたい。

団体出勤



▶ 備後教区の皆さんで記念撮影

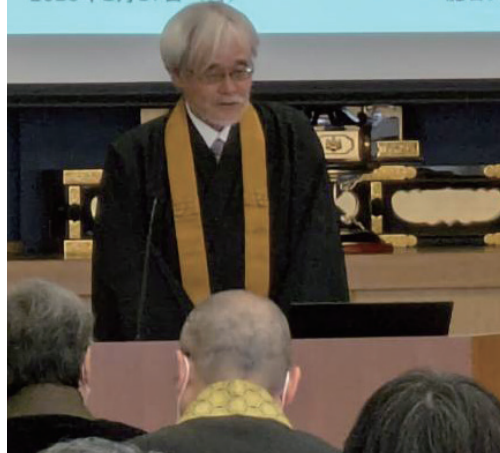
僧侶研修会

2024(令和6)年

「菩薩の誓願～一切衆生の利益安楽のために～」

2025年2月17日(月)

龍谷大学 学長 入澤 崇



講師

入澤 崇

龍谷大学学長
御調東組善行寺住職

2月17日(月)、御調東組照源寺(久本晃道住職)門徒会館にて、「備後教区僧侶研修会が開催された。講師は入澤崇龍谷大学学長(三月末で退任)に出講いただいた。講題は、「菩薩の誓願～一切衆生の利益安楽のために」。社会が大きく変動しようとしているときに仏教界は適応できているのか、アジアに仏教が行き渡った背景を紐解き、これからの伝道の在り方、龍谷大学の取り組みについて語ってくださり参加者70名が聴講した。(文責・教区報編集委員)

政治権力者、富裕層、商人に大きな影響を与え、そして仏教を大切にし仏教の教えをもとにした政治を行い、結果として異民族と共存するという道が開かれていった。そこで、シルクロードで各地にお寺が建てられた」と説明された。

利己心を取り除く

インドで生まれた仏教の根本は何であるかについて、中谷英明先生(宗教学者・専門はインド仏教学)と一緒に、一番古い経典に何が説かれているかを研究しました。『スッタニパータ』のアッタカパッカが一番古い経典で、読み返すと、「人間は無自覚の利己心に支配され行為と心を常に自制して利己心の消却につとめなければならぬ」とあることがわかった。釈尊の思想の根源にあるのは、日常レベルの自己否定ではなく、自分自身が認識しているその認識の仕方が間違っている。中谷先生は、

釈尊は仏教が否定したと言われるバラモン教の伝統に沿って語っていると言われた。

釈尊が到達した思想は、「自分という意識が現れたときに、そこにもうすでに利己心というものがある」ということ。自己と他者と区分けして物事を考える、二元的な発想で物事を考えるときには、常に自分が正しいと自分の利益が優先されてしまう」と、実は一番古い経典に述べられています。利己心を取り除くというのが釈尊の一番のメインテーマで、利己心を取り除くことですべてのものに対する優しさが現れてくる。慈悲とか利他という言葉は、古い経典には出てきません。

「涅槃」とは

利己心を取り除き続けることを、「涅槃」と言います。学生のころ、「悟りの境地」それが「涅槃」であると学びました。釈尊が亡くなる、それを「初涅槃」と学びました。しかし、「涅槃」という言葉の一番古い使われ方は、「利己心を取り除き続ける」ということです。この利己心がこの世の真実を見えなくさせてしまっているというのが釈尊の思想の原点です。

なぜ仏教が必要とされたのか

まず先生は自身の研究テーマについて、「私は30代の頃から、どうしてアジアに仏教が広がっていったのか、そしてどんな仏教があったのかを調べ始めました。歴史を紐解いてみると、シルクロードといわれる地域は、民族と民族の紛争が続いていた地域です。人間はなぜ争いを続けるのか、そして人間というものを見極める必要がある。その紛争が続いたところ

では、真実とは何か。それが、「縁起」と言われるものです。この世は関係性で成り立っている。自分自身の存在も、関係性の中で成り立っている。この真実を知らないところに苦悩が生まれるのである。

伝道布教の原点

私は、釈尊が利己心を消却し続けるというところに留まっていたなら、仏教にはならなかったと思います。仏教が仏教になったのはいつかといえば、釈尊が説法を決意したときです。いま私たちが伝道布教していることは、古代インドでは画期的なことでした。自分が到達した思想を伝えるときは、弟子にひっそりと伝えるんです。公開の場で教えを説くことは、釈尊以前にはありませんでした。最高神ブラフマンがお釈迦さまに、あなたの教えをどうか人々に説いてください。とお願いをして仏陀は説法を決意し一歩踏み出します。バラモン教にあつて一番の最高神が、仏陀に対してお願いした。私は、この説話は非常に大切だと思います。釈尊の到達した思想というのが、社会に向けて広まってく一歩の原点です。ですから伝

道布教というのは、これは仏教の中では一番大切なことなのです。仏教の仏教たる所以は、そこなんです。仏教は、自分自身の学問をそれだけやっていればいいというのではなくて、社会に向けて一歩踏み出したというここに大きな特徴があります。

釈尊の伝道宣言

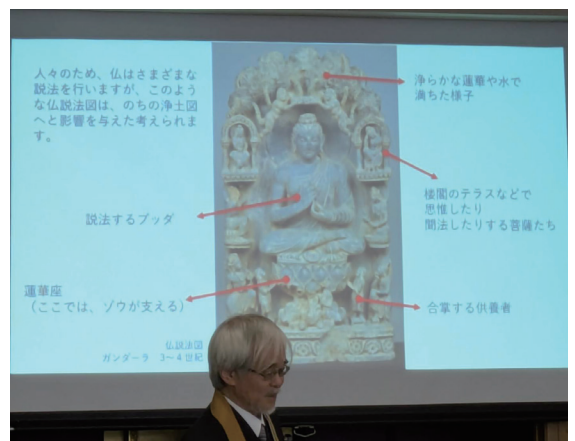
釈尊の伝道宣言は少し時代が下がったことですが、どういう言葉で説かれていたかといえば、「多くの人々の利益のために、多くの人々の安楽のために、世間を愛護するために、神々と人間との利益安楽のために」とあります。ですから菩薩の誓願の中に出てくる「利益安楽」という言葉は、釈尊が説法を決意し伝道を志す宣言のなかに出てくる言葉です。私は、釈尊の説法そのものが、仏教でいうところの利他の原初形態ではないかと思えます。現代社会というものを見ていくと混迷を深めている。人間の暴力は何に由来するのか。それは仏陀に言わせると、怒りや憎悪や偏見。これらは人間の根源的無知に由来する。利己心が私たちの正しい認識を曇らせている。というのが釈尊の回答です。

社会の課題と向き合う

社会の課題は、仏教から物言えるはず。ところが、今の日本の仏教が社会課題に本面向きあっているかどうか考え直す必要があります。仏陀が社会に向けて一歩踏み出されたということは、仏陀の教えは個人の苦悩を解消するだけではなくて、社会の安寧に資する可能性があるということです。自分自身を変えていくことが社会変革につながることを教えてくれている。それが仏教であると、私は、とらえています。

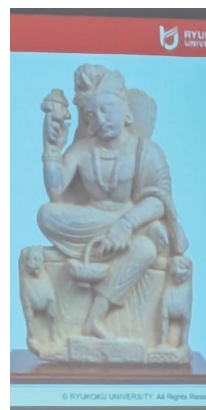
アシヨーカ王が菩薩の原形？

どうして仏教がアジアに広まったか。まず最初にとりあげなくてはならないのが、紀元前3世紀にアシヨーカ王という王様があらわれた。この方を抜きにして仏教の伝播は語れない。戦争ばかりしていて戦争で領土を広げていった。ある戦争で戦争のおろかさを知り、武力によって人の心は統治できない。「法」に依る統治政治が必要だと知った。大きな影響を与えたのが仏教です。アシヨーカ王が残した言葉によく出てくるのが、「利益」と「安楽」なのです。



アシヨーカ王の事跡に日本人で最初に関心をもったのが、本願寺の大谷探検隊です。

国王といえども、生きとし生ける一切のものから恩を受けている。政治とは、生きとしけるものに対する報恩の行であるといわれる。病院も建設しています。人間だけではなく、動物の病院も建てています。貧困対策として施しの家というのも建てています。インフラ整備もしています。井戸を作ったり旅人の休息所を建てています。後に大乘仏教の中で、菩薩の誓願に利益安楽という言葉がさかんに出てくる。アシヨーカ王の活動というのが、もしかすると菩薩の原型であるかもしれません。



龍谷大学の取り組み

教育で、「浄土真宗」の精神というものを建学の精神にする大学にあつては、自己中心性に気づく強靱な知性を、思いやりの心を備えた人間を育成するということを目指しています。龍谷大学では、仏教の精神というものとSDGsを結びつけることを創立380周年の時に打ち出し、仏教SDGsと称して取り組んでいます。

「誰一人取り残さない」というのは菩薩の誓願です。法蔵菩薩の誓願、観無量寿経では摂取不捨という言葉で示されている。

このSDGsの17の目標は人間の意識が変わらない限り達成することはできないであろう。まさに、私たち一人一人の人間の意識と行動の変容こそが、仏教である、と私は思います。

2019年に、バングラディッシュよりもハマドユネスさんという方をお招きしました。元々は経済学者だったのですが、バングラ

ディッシュの貧困問題に関与して手を差し伸べる、また自分自身も銀行を作られました。2006年にノーベル平和賞を受けました。企業は、まず社会の利益を考えるべき。そこで、ソーシャルビジネスというのを打ち上げられました。彼は、3つのゼロ運動というのを若い人に向けて言ってるんですね。貧困ゼロ、失業ゼロ、二酸化炭素排出ゼロ。これを世界の若者に呼びかけています。

我々の活動というのは、仏教SDGsと言いながらも、仏教に閉ざすということではなく、世界に向けて打ち出していく。イスラム教の方と、またはキリスト教の方と、とにかく社会の深刻な課題に向き合おうではないかということ

で活動を開始しています。

今、龍谷大学は学生ベンチャー育成事業というを行っております。自分で起業する若者たちが増えてきました。その彼らのアイデアを、いくつか発表してもらってコンテスト形式でやっています。

それから環境問題ですね。

環境問題というのは本当に難しく、それで環境省と連携して、地域脱炭素の推進に関する協力協定というのを環境省の中で協定を

結ぶこととなりました。そして今、環境省の方から職員が龍谷大学に来て、龍谷大学の職員として活動してもらっています。それから、エネルギーの問題。龍谷大学には、3つのキャンパスがあります。この度、3キャンパスで使用する全ての電力を、再生可能エネルギーで100%まかなうということを達成いたしました。



これからの伝道布教

価値観が全然違うところに仏教の教えを伝える人の苦勞、そういう人たちが私たちは学ぶことはとても多いのではないかと思います。私も寺にいますと、聞く耳を持つ人ばかりを相手にしている。そこがどんどん高齢化して、あとを継ぐ者はどんどん都会に出て行って門徒数も減っていく。他の宗派の開教使の活動なんで

すが、今、その方がアメリカで活動している自分のお寺に一番多く来てくれているのはイスラエル人だそうなんです。それは、今のイスラエル政府のやり方について疑問を持つ方が増えてきているということなんです。仏教の教えを聞いて、こんな素晴らしい教えがあるのか、と感動されたそうです。

釈尊が、梵天の勧請によって全く未開の地に一步踏み出していかれた。それがどれだけ偉大なことであつたか、その流れに私たちはあるわけです。単に、聞く耳を持つている人たちだけを対象として満足している。もうそういう時代ではなくなってきた。仏教と関係のない人たちに大切なことを伝えていく。これまでとは違った手法というものが必要なのではないかと。私たちが直球で仏教という話を、いきなり、「こうこうだ」ということ、それはあまりにも現代社会と遊離している。

だから命が大切ということや言う場合にも、すでに民間の中でそういうことがあつたら、それをどんどん積極的に受け入れて、そこに仏教の教えを接続していく、そういう手法を取るべきではないかと思っています。



新しい時代の念仏者養成のための 人権に関する連続研修 (養成研 第1～2回)

2024(令和6)年12月4(水)に、第2期第1回養成研を本願寺備後教堂にて開催した。ご講師に、なごらく宗門のビハーク活動の第一人者として、課題対応の先頭で歩んでこられた野村康治先生(社会福祉法人本願寺龍谷会ビハーク本願寺理事長他)をお招きし、「ビハーク活動と人権」をテーマにご講義をいただいた。講義では、「ビハーク」という言葉の由来から活動の展開についてご教示いただくとともに、介護保険法と労働基準法との関係による問題点などを挙げられ、法律の側面から人権問題について考える機会をいただいた。本号では、この研修会に参加した同朋社会部会部員より、講義受講の所感について次の通り報告します。

第1回養成研「ビハーク活動と人権」を受けて

「仏の傍、人間の傍」

ある先生から、「人間の平等と、仏の平等は違う。」と聞いた。

どういうことかというところ、人間の考える平等は、お土産に喩えれば、同じお饅頭を同じ量、同じ数だけ、家族のそれぞれにあげることに。仏が説かれる平等は、父はお酒が好きだからお酒、母は甘いものが好きだからお菓子、ゆるキャラが好きなら姉にはご当地キャラクタージュズ、といった具合に、最終的に、皆から「ありがとう」と言ってもらえるようなお土産だ。

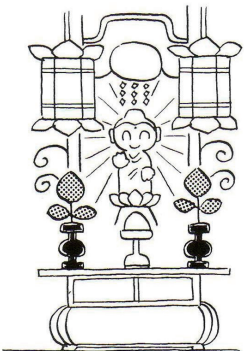
人間の考える平等では、嗜好が違ったり、病気があったり、お饅頭では「ありがとう」とならない場合がある。仏さまは往生成仏というゴールを平等にされたのだと。

人間の考える平等は、誰もが浄土に往生し、仏に成れる阿弥陀佛の慈悲の平等には遠く及ばないものである。

今回の講座で、現在の高齢者の介護施設では、法制化が進んでおらず、「毎日お風呂に入れない」、「刺身が食べられない」、等、全て

の入所者のニーズに答えられない状況にあり、介護職の労働環境も厳しいと聞いた。お釈迦様の対機説法、応病与薬の姿勢の真似は到底できなくとも、画一的な対応だけでなく、相手の環境、背景、人生の物語、等々、様々な状況の違いに合わせて対応は、介護の場だけでなく、寺院活動において、必要とされている事かもしれない。

あるご門徒さんが、病床で息を引き取るうとしてお母さんの呼吸の音を電話で聞かせてくださった。その息の音は、息をすること以外、何もできない状態でありながら、命の尊厳の一端を伝えるものだった。仏に向かい、仏の傍にいさせていたでいることと同時に、生きている人間に向かい、生きている人間の傍にいさせていたでいることを、忘れてはいけないと思った。



1. 養成研の目的

僧侶や坊守、その他希望する人などのための学習として、いじめや差別など人権に関する課題を学び、念仏者として必要な基礎的知識の習得をはかる。

2. 経緯

宗門では1992年度より各組において「僧侶研修会」(当初は「基幹運動推進僧侶研修会」)を実施してきた。しかし、僧侶研修開催から30年近くが経過し、社会的に変動してきた人権認識・各種社会意識に対し、宗門や僧侶における認識の停滞も問われている。(『み教えと差別の現実』)

また、人権の学習を行うにあたっては、「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を重んじ、より個々の事例に寄り添って進めていくことが大切である。(『部落差別の解消の推進に関する法律』2016年施行)

これらのことを踏まえ、備後教区では新しい時代の念仏者の育成のための取り組みの一つとして、社会の変化に即応した総合的な人権研修カリキュラムを設置し、より人々の苦悩に寄り添うための学習の場とする。

3. 開催計画(2ヶ年中開催)

第1回〜第2回 令和6年度中に開催
第3回〜第6回 令和7年度中に開催

第2回養成研「宗門の運動と人権」のご報告

2025年2月6日に松野尾慈音先生を講師にお迎えして『「宗門の運動と人権」―話し合い法座の願い―』と題して第二回目の養成研が行われた。

現在の実践運動の前身である基幹運動は内省の運動であり、内省とは教団、寺院を維持していくなか、「自己保身」へと寄っていく責任が問われ、「自己を問われていく」ことであると最初におっしゃったことが心に深く残っている。

同朋運動の原点としての水平社、1979年の世界宗教者会議における部落差別発言で明らかになった宗教者の差別意識と人権に対する意識の希薄さ、差別戒名・法名の問題や1988年に始まった同朋三者懇話会などで問題が提起されるたび、又その後も差別発言が表出するたびに検証が行われ、研修が行われているはずなのに繰り返されている現実がある。

正直なところ、私にとって多くのことは歴史的経過、教科書で習う歴史で遠い過去のことのように感じる。しかしながら、最近ではNHKで放送された過去帳に類するものについての問題が起きている。これは形だけ、表層だけを研修で理解しているつもりで、し

かしながら本質を理解できていない。もしくは理解しようと思っていない関係ないという意識が先立つことで形を少しだけ変えた差別事象を繰り返すのであろうと感じる。確かに無意識に持つ内在化した差別は、意識的に問題に向き合うことから始まらず、自分を深く見つめ、恥ずかしさや情けなさ、やってきたことに頭を抱え、深く頭を下げることで、行動を変えざるを得ないこと、まさに「慚愧」という言葉が当てはまるのだらうと、表層をうろうろとただるだけの私は怖さを感じた。

同じく連研も、連研ノートは「問い」の形でつくられていて、「自己を問うこと」が知識ではなく生きるよりどころとなるための大切なステップであると考えられていることをお話しただいた。「連研では僧侶が話すグループより、黙ってうなずくだけのグループの方が、参加者の思いや考えは深化していくよう。大きな声では言えないが、」と前置きされてお話しくださったのが印象的であった。

軽妙な語り口で大変厳しい課題を与えていただいた講座であった。



大盛況！！備後佛青連盟

前田尾道の
お寺で開催して
5組10名
カップル成立
しました！

広島県近郊から男女50人が世羅町に集合

お寺de縁結び

5年ぶりに寺婚イベント

佛青連盟

3月2日(日)、寺婚イベント

「お寺de縁結び」開催される

コロナ禍を経て、実に5年振りに備後佛青の寺婚活プログラムが帰って来た。実は当初は昨年の10月に開催予定だったが参加者募集に苦戦し、結局募集の男性25名女性25名に僅かに届かず、延期となり今回を迎えた。果たして…

会場 照光寺(世羅組)

当日は広島県内はもとより、山口、島根、愛媛、岡山、兵庫各地より男性29名女性26名が参加し、スタッフも、のべ20人が集まった。その様子は、広い照光寺の本堂が手狭に感じられる程だった。

MC(司会進行役)の枝廣(崇興寺)とBBQ(裏方担当)の松井(慶満寺)の歯車も噛み合い、プログラムは進行して行った。更には会所、脇本坊守様のお抹茶接待などもあり、終始和やかな雰囲気の中、若い男女が出会いと語りを楽しんだ。そして最終的には、6組のカップリングが成立して、大盛り上がりの中無事閉会を迎えた。



⑥ 昼食はBBQ



⑦ 男性がリードします



⑧ 女性も積極的です



⑨ 茶室で抹茶接待



⑩ 縁側で楽しく会話



① まずは全員と顔あわせ



② 大人数なので大変です



③ 互いにアピール



④ 交流ゲーム



⑤ 自己開示ゲーム





ここまでの道のりは決して平坦ではなかった。今回は沼隈西組、万福寺(河村祐昭住職)で開催し大成功を納める。5組のカップルが誕生し、その内の1組は晴れて御成婚に至った。実は、備後佛青活動を通じて知り合いグループに至ったカップルはこれで3組目となった。これを意気に感じて、この婚活プログラムを毎年開催しようと思論むスタッフだったが、コロナ禍到来と共にやむなく長い中断を余儀なくされた。その間も福山駅前清掃奉仕やオンライン「哲学カフェ」などを通じて、脈々と「生命の繋がり大切さ」を胸に活動を持続させて来た。

「生命と生命よ。繋がれ、結びつけ!!」と一瞬たりとも休みなく、おはたらきくださる阿弥陀さまの「本願力」に逆行する様な風潮満ちた時代に今、まさに求められているのは「既存の方法論」ではなく、青少年世代教化への「情熱と推進力」であろう。

そして今回、中止延期という佛青初めての挫折を味わうと共に、「佛教伝道氷河期」への突入を肌で感じた。それでも、麻生代表、枝廣兄弟、松井夫妻による「デジタル+アナログ」を駆使してのプロパガンダ展開が功を奏したと言える。



最後に会所照光寺、脇本家の皆様、前回に引き続きご協賛いただいた府中鉄板焼きSOLA様、そしてスタッフの皆様、また事務幅輻のなかサポートくださった教務所後谷氏本当にありがとうございます。



会所住職 照光寺 脇本寿真
備後佛教青年連盟 (代表) 麻生敏博
(リーダー) 枝廣慶樹

私たちが当日スタッフをしました



松井一昭、枝廣大智、石村将志、
中島結伊、下河内浩貴、藤井友佳、
坂元慎之介(佛青中央委員)、
村岡侑、水本美咲、松井隆生



3月27日(木)、少年連盟(脇本寿真委員長)主催の教区子ども大会ウォークラリーが尾道市街で開催された。メイン会場の御調東組浄泉寺(遊亀山真照住職)に教区内から14チーム百名以上の子ども達が集結して、盛況に終わった。

もともと隔年開催の大会であるがコロナ禍の影響で6年ぶりの開催となり、スタッフの確保が重要な課題であったが、結果的には新旧のスタッフ約40名が運営に携わってくれた。雨予報のため昼食場所や時間の変更をするなど臨機応変にスタッフが各方面に尽力し、大会の最後まで子ども達の楽しそうな声があふれていた。



News & 活動情報

布教団

青年布教使研修会

1月21日(火)、備後教区布教団青年布教使の会(川上順之青年代表)の主催のもと、本願寺備後教堂にて研修会を開催した。

研修では、中村啓誠先生(安芸教区佐伯東組光乗寺衆徒・本願寺派布教使)より、「布教の基本」と題し、お話しいただいた。



門徒推進員

尾道で門徒交流会

1月22日(水)〜23日(木)、門徒推進員の研修交流会を開催した。22日は、次年度引き受けとなる連区研修会場下見の後、尾道ふれあいの里に場所を移しての研修では、連研中央講師の荏屋光影先生(深津組光行寺住職)より「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」について「ともに歩む」と題しお話しいただき、宗門を構成する全員が参画する運動として今私たちに何ができるのかをともに考える機縁となった。夕食を取りながらの交流会は、和やかな雰囲気のおかげで、推進員同志で親睦を深めた。



広報伝道部会

真宗講座

2月4日(火)、第37回目の真宗講座が本願寺備後教堂を会場に開催された。

ご講師は安方哲爾先生(大阪教区南郡組正満寺前住職・本願寺派布教使)により『教行信証』信巻について、ご講義をいただいた。この貴重な御本典講義を聴講しようと教区内外からも参加をいただいている。

次年度(令和7年度)の予定は次の通り。

- 第38回 4月2日(水)
- 第39回 9月4日(木)
- 第40回 2月13日(金)



教区月報

令和7年1月

1月 (January)

- 9日 本山御正忌報恩講法要
教区団体出勤・参拝
 - 11日 教堂常例法座
おつとめ教室・勤式練習会
 - 17日 仏壮理事会
 - 18日 門信徒部会
 - 20日 青年布教使研修会
 - 21日 門徒推進員研修交流会
(尾道ふれあいの里 23日)
 - 22日 第4連区実践運動協議会
(山陰教区 23日)
 - 24日 布教団役員会
 - 27日 法務法務専門委員会
 - 28日 矯正教化広島管区支部研修会
(安芸教区 29日)
 - 29日 同朋社会部会
-
- ### 2月 (February)
- 3日 第4連区布教団協議会(安芸)
 - 3日 仏青連盟青年教化指導者
研修会(本山 4日)
 - 4日 第37回真宗講座
 - 6日 人権連続養成研修会(第2回)
 - 10日 おつとめ教室・勤式練習会
 - 11日 教堂常例法座
 - 13日 備龍会 仏教教養講座
 - 14日 組勤式推進協議会

勤式 後期勤式研究会

2月14日(金)、本願寺備後教堂にて後期勤式研修会を開催し、21名が参加した。研修には本願寺名誉侍真の丸岡興隆先生(兵庫教区六栗組眞光寺住職)にご出講いただき、「正信偈と声明の唱法と変遷」についてお話しいただいた。



布教団 部門別・実践運動研修会

2月27日(木)、本願寺備後教堂にて布教団部門別・実践運動研修会並びに臨時総会を開催した。実践運動研修会では、小武正教先生(三次組西善寺住職・本願寺派布教使)より、『今の「私」の法話、戦争讃美の法話と何が変わったのでしょうか?』と題し、本願寺教団の戦時協力や戦時布教の問題点等お話しいただいた。部門別研修では、フリーアナウンサーとして各メディアでご活躍の本名正憲先生をお迎えし、「マイク生活40年、ラジオが教えてくれたこと」と題し、長年のアナウンサーとしての経験から、伝えることの大切さをお話しいただいた。



同朋社会部会

自死を考える学習会

2月28日(金)、本願寺備後教堂を会場に、自死を考える学習会を開催した。この度は、ご講師に前島常郎先生(長野県自死遺族自助グループ「やまなみ」世話人・クリスチャン自死遺族自助グループ「サインの会」世話人他)をお招きし、ご講師の経験を踏まえて、現在、自助グループの世話人として活動されている中での取り組みや願いについてご教示いただいた。



17日 教区後期勤式研修会
14日 教区僧侶研修会

(御調束組照源寺)

19日 寺婦連盟役員会

20日 法務専任委員会

21日 教堂参与幹事会

22日 仏壯連区研修会実行委員会

26日 教区賦課基準等調整委員会

26日 常備会

27日 布教団臨時総会・部門別研修

28日 会・実践運動研修会

自死を考える学習会

3月 (March)

2日 仏青連盟「お寺de縁結び」
(世羅組照光寺)

3日 ビハール備後役員会

3日 ビハール研修・活動者の集い

3日 IT専門委員会

5日 第4連区教化団体連絡協議会

(四州教区 オンライン)

5日 門信徒のつどい

6日 重プロリーダー協議会

7日 門推連絡協議会世話人会

7日 おつとめ教室 閉校式

7日 勤式練習会 閉校式

7日 ハンセン病学習会

8日 ほほえみ講座

10日 寺院振興対策委員会

10日 組長会

ビハール

研修会・活動者の集い



3月3日(月)、ビハール備後
研修協議会並びにビハール備後活
動団体・活動者のつどいを本願寺
備後教堂にて開催した。

講師の深水顕真先生(三次組専
正寺住職、本願寺派布教使、広島
文教大学非常勤講師他)より『「悪
人」としての介護・看取り」と題
して講義をいただいた。また、研
修会に引き続き開催の活動団体・
活動者のつどいでは、講師より助
言をいただく中で参加者同志の思
いや悩みを共有する場となった。

門信徒部会

教化団体連絡協議会

3月5日(水)、本願寺備後教
堂にて門信徒のつどい(教化団体
連絡協議会)を開催した。

各教化団体の正副代表に出席い
ただいた午前の連絡協議会では、
各団体の活動状況や課題・問題点
を共有し、今後の推進に向けた横
のつながりの重要性を再確認し
た。午後からの研修では、連研中
央講師の和氣秀剛先生(奈良教区
吉野西組圓光寺)にご出講いただ
き、「寺院の活性化・連研や門徒
推進員に学ぶ」をテーマに、班別
話し合いも交えながらこれからの
寺院と門信徒との関わりも含め、
今後の活性化についてともに考え
る研修となった。



ハンセン病学習会

同朋社会部会



3月7日(金)、ハンセン病の
差別と歴史を学ぶ学習会を開催し
た。このたびは教堂での事前学習
として開催した。講師の小武正教
先生(同朋社会部会部員、同和教
育振興会理事)より、ハンセン病
差別を助長してきた宗門の歴史と
施設入所者の思い等をご教示いた
だいた。念仏者としてハンセン病
差別に対してどのように向き合う
か、参加者それぞれが思いをあら
たにした。今回の学習会を踏まえ、
令和七年度は現地にて学習会を実
施する予定。

今後の予定

4月(April)

31日	31日	11日	11日
仏壮監査	少年連盟ウォークラリー (御調東組 浄泉寺)	得度講習会	教堂常例法座
27日	27日	12日	12日
定期教区会	定期教区会	得度講習会	得度講習会
26日	26日	13日	13日
ビハール連絡協議会	ビハール連絡協議会	得度講習会	得度講習会
25日	25日	14日	14日
参加者総会・聞法会	参加者総会・聞法会	得度講習会	得度講習会
24日	24日	15日	15日
参加者総会・聞法会	参加者総会・聞法会	得度講習会	得度講習会
21日	21日	16日	16日
教堂責任役員・総代会	教堂責任役員・総代会	得度講習会	得度講習会
17日	17日	17日	17日
少年連盟WRスタッフ会議	少年連盟WRスタッフ会議	得度講習会	得度講習会
14日	14日	18日	18日
宗派重プロ研修会オンライン	宗派重プロ研修会オンライン	得度講習会	得度講習会
14日	14日	19日	19日
全国教区会議長会同(本山)	全国教区会議長会同(本山)	得度講習会	得度講習会
14日	14日	20日	20日
得度講習会(本願寺備後教堂)	得度講習会(本願寺備後教堂)	得度講習会	得度講習会
12日	12日	21日	21日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
11日	11日	22日	22日
教堂常例法座	教堂常例法座	得度講習会	得度講習会
10日	10日	23日	23日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
9日	9日	24日	24日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
8日	8日	25日	25日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
7日	7日	26日	26日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
6日	6日	27日	27日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
5日	5日	28日	28日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
4日	4日	29日	29日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
3日	3日	30日	30日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
2日	2日	31日	31日
得度講習会	得度講習会	得度講習会	得度講習会
1日	1日		
得度講習会	得度講習会		
31日	31日		
得度講習会	得度講習会		
30日	30日		
得度講習会	得度講習会		
29日	29日		
得度講習会	得度講習会		
28日	28日		
得度講習会	得度講習会		
27日	27日		
得度講習会	得度講習会		
26日	26日		
得度講習会	得度講習会		
25日	25日		
得度講習会	得度講習会		
24日	24日		
得度講習会	得度講習会		
23日	23日		
得度講習会	得度講習会		
22日	22日		
得度講習会	得度講習会		
21日	21日		
得度講習会	得度講習会		
20日	20日		
得度講習会	得度講習会		
19日	19日		
得度講習会	得度講習会		
18日	18日		
得度講習会	得度講習会		
17日	17日		
得度講習会	得度講習会		
16日	16日		
得度講習会	得度講習会		
15日	15日		
得度講習会	得度講習会		
14日	14日		
得度講習会	得度講習会		
13日	13日		
得度講習会	得度講習会		
12日	12日		
得度講習会	得度講習会		
11日	11日		
得度講習会	得度講習会		
10日	10日		
得度講習会	得度講習会		
9日	9日		
得度講習会	得度講習会		
8日	8日		
得度講習会	得度講習会		
7日	7日		
得度講習会	得度講習会		
6日	6日		
得度講習会	得度講習会		
5日	5日		
得度講習会	得度講習会		
4日	4日		
得度講習会	得度講習会		
3日	3日		
得度講習会	得度講習会		
2日	2日		
得度講習会	得度講習会		
1日	1日		
得度講習会	得度講習会		
31日	31日		
得度講習会	得度講習会		
30日	30日		
得度講習会	得度講習会		
29日	29日		
得度講習会	得度講習会		
28日	28日		
得度講習会	得度講習会		
27日	27日		
得度講習会	得度講習会		
26日	26日		
得度講習会	得度講習会		
25日	25日		
得度講習会	得度講習会		
24日	24日		
得度講習会	得度講習会		
23日	23日		
得度講習会	得度講習会		
22日	22日		
得度講習会	得度講習会		
21日	21日		
得度講習会	得度講習会		
20日	20日		
得度講習会	得度講習会		
19日	19日		
得度講習会	得度講習会		
18日	18日		
得度講習会	得度講習会		
17日	17日		
得度講習会	得度講習会		
16日	16日		
得度講習会	得度講習会		
15日	15日		
得度講習会	得度講習会		
14日	14日		
得度講習会	得度講習会		
13日	13日		
得度講習会	得度講習会		
12日	12日		
得度講習会	得度講習会		
11日	11日		
得度講習会	得度講習会		
10日	10日		
得度講習会	得度講習会		
9日	9日		
得度講習会	得度講習会		
8日	8日		
得度講習会	得度講習会		
7日	7日		
得度講習会	得度講習会		
6日	6日		
得度講習会	得度講習会		
5日	5日		
得度講習会	得度講習会		
4日	4日		
得度講習会	得度講習会		
3日	3日		
得度講習会	得度講習会		
2日	2日		
得度講習会	得度講習会		
1日	1日		
得度講習会	得度講習会		
31日	31日		
得度講習会	得度講習会		
30日	30日		
得度講習会	得度講習会		
29日	29日		
得度講習会	得度講習会		
28日	28日		
得度講習会	得度講習会		
27日	27日		
得度講習会	得度講習会		
26日	26日		
得度講習会	得度講習会		
25日	25日		
得度講習会	得度講習会		
24日	24日		
得度講習会	得度講習会		
23日	23日		
得度講習会	得度講習会		
22日	22日		
得度講習会	得度講習会		
21日	21日		
得度講習会	得度講習会		
20日	20日		
得度講習会	得度講習会		
19日	19日		
得度講習会	得度講習会		
18日	18日		
得度講習会	得度講習会		
17日	17日		
得度講習会	得度講習会		
16日	16日		
得度講習会	得度講習会		
15日	15日		
得度講習会	得度講習会		
14日	14日		
得度講習会	得度講習会		
13日	13日		
得度講習会	得度講習会		
12日	12日		
得度講習会	得度講習会		
11日	11日		
得度講習会	得度講習会		
10日	10日		
得度講習会	得度講習会		
9日	9日		
得度講習会	得度講習会		
8日	8日		
得度講習会	得度講習会		
7日	7日		
得度講習会	得度講習会		
6日	6日		
得度講習会	得度講習会		
5日	5日		
得度講習会	得度講習会		
4日	4日		
得度講習会	得度講習会		
3日	3日		
得度講習会	得度講習会		
2日	2日		
得度講習会	得度講習会		
1日	1日		
得度講習会	得度講習会		
31日	31日		
得度講習会	得度講習会		
30日	30日		
得度講習会	得度講習会		
29日	29日		
得度講習会	得度講習会		
28日	28日		
得度講習会	得度講習会		
27日	27日		
得度講習会	得度講習会		
26日	26日		
得度講習会	得度講習会		
25日	25日		
得度講習会	得度講習会		
24日	24日		
得度講習会	得度講習会		
23日	23日		
得度講習会	得度講習会		
22日	22日		
得度講習会	得度講習会		
21日	21日		
得度講習会	得度講習会		
20日	20日		
得度講習会	得度講習会		
19日	19日		
得度講習会	得度講習会		
18日	18日		
得度講習会	得度講習会		
17日	17日		
得度講習会	得度講習会		
16日	16日		
得度講習会	得度講習会		
15日	15日		
得度講習会	得度講習会		
14日	14日		
得度講習会	得度講習会		
13日	13日		
得度講習会	得度講習会		
12日	12日		
得度講習会	得度講習会		
11日	11日		
得度講習会	得度講習会		
10日	10日		
得度講習会	得度講習会		
9日	9日		
得度講習会	得度講習会		
8日	8日		
得度講習会	得度講習会		
7日	7日		
得度講習会	得度講習会		
6日	6日		
得度講習会	得度講習会		
5日	5日		
得度講習会	得度講習会		
4日	4日		
得度講習会	得度講習会		
3日	3日		
得度講習会	得度講習会		
2日	2日		
得度講習会	得度講習会		
1日	1日		
得度講習会	得度講習会		
31日	31日		
得度講習会	得度講習会		
30日	30日		
得度講習会	得度講習会		
29日	29日		
得度講習会	得度講習会		
28日	28日		
得度講習会	得度講習会		
27日	27日		
得度講習会	得度講習会		
26日	26日		
得度講習会	得度講習会		
25日	25日		
得度講習会	得度講習会		
24日	24日		
得度講習会	得度講習会		
23日	23日		
得度講習会	得度講習会		
22日	22日		
得度講習会	得度講習会		
21日	21日		
得度講習会	得度講習会		
20日	20日		
得度講習会	得度講習会		
19日	19日		
得度講習会	得度講習会		
18日	18日		
得度講習会	得度講習会		
17日	17日		
得度講習会	得度講習会		
16日	16日		
得度講習会	得度講習会		
15日	15日		
得度講習会	得度講習会		
14日	14日		
得度講習会	得度講習会		
13日	13日		
得度講習会	得度講習会		
12日	12日		
得度講習会	得度講習会		
11日	11日		
得度講習会	得度講習会		
10日	10日		
得度講習会	得度講習会		
9日	9日		
得度講習会	得度講習会		
8日	8日		
得度講習会	得度講習会		
7日	7日		
得度講習会	得度講習会		
6日	6日		
得度講習会	得度講習会		
5日	5日		
得度講習会	得度講習会		
4日	4日		
得度講習会	得度講習会		
3日	3日		
得度講習会	得度講習会		
2日	2日		
得度講習会	得度講習会		
1日	1日		
得度講習会	得度講習会		
31日	31日		
得度講習会	得度講習会		
30日	30日		
得度講習会	得度講習会		
29日	29日		
得度講習会	得度講習会		
28日	28日		
得度講習会	得度講習会		
27日	27日		
得度講習会	得度講習会		
26日	26日		
得度講習会	得度講習会		
25日	25日		
得度講習会	得度講習会		
24日	24日		
得度講習会	得度講習会		
23日	23日		
得度講習会	得度講習会		
22日	22日		
得度講習会	得度講習会		

重点プロジェクト

各組リーダーで情報交換

3月6日(木)、本年度3回目となる重点プロジェクトリーダー協議会を、各組リーダー・サブリーダーを対象に本願寺備後教堂にて開催した。協議会では一條博堂教区リーダー進行のもと、各組の推進状況の報告、また現場となる各寺院の推進やそれぞれに抱える悩みを共有し、各種意見交換を行った。本年度は第5期推進期間の初年度にあたり主に計画策定の年度となったが、次年度以降は計画に基づいた具体的推進に向け、教区・組・寺院が一体となつてさらなる推進を図っていくこととなる。



得度講習・考査

3月12日(水)～14日(水)、本願寺備後教堂において本年度得度講習会・考査を実施した。

講習会・考査に先立ち、備後教区独自の取り組みとして、勤式指導員・補佐・組勤式推進員協力のもと、受講者を対象とした事前確認を行い、講習会・考査受講に向け意識を高めていただいた。期間中は、講師陣より座学(仏教の基礎知識、宗制の大意)と勤式作法・実唱・出仕等をご教授いただき、受講(受験)者は、僧侶としての自覚並びに基本的な技能及び知識習得に向けて、真摯に取り組んでいた。



仏婦連盟 ほほえみ講座

3月8日(土)、本願寺備後教堂にて若婦人専門委員会の企画によるほほえみ講座を開催し、37名(大人31名・子ども6名)が参加した。まず、本願寺派布教使の佐藤知水先生(中組光栄寺)より、「仏さまのまなざしの中で育まれるもの」と題して法話をいただき、その後のワークショップでは、蓮の花を模した灯明を製作した。この度参加者に製作いただいた蓮灯明の一部は、4月18日(金)に予定する「教区仏婦連盟結成70周年記念大会」での舞台荘厳としてお供えさせていただく。



教堂参与会・総会・聞法会

3月24日(月)、本願寺備後教堂参与会・総会・聞法会を開催した。総会では、新任者並びに会務報告等を行った。また、総会引き続き開催の聞法会では、真澄慎一先生(世羅組善行寺住職、本願寺派布教使)にご出講いただき、「お念仏のおこころ」と題してお取り次ぎいただいた。

22日 第3回養成研
30日 中四国ブロック少年連盟
連絡協議会(広島別院)

5月(May)

11日 教堂常例法座
14日 矯正教化広島管区支部研修会(広島別院)
23日 おつとめ教室・勤式練習会
26日 第4連区門推連絡協議会(尾道国際ホテル)
30日 ビハーク役員会

6月(June)

10日 寺婦総会研修会
11日 教堂常例法座
12日 おつとめ教室・勤式練習会
12日 中四国寺族青年野球大会
16日 組勤式推進員研修会
19日 布教団総会研修会
20日 布教団夏期布教大会
21日 第4連区仏壮連絡協議会

7月(July)

1日 第4連区布教使研修会(2日迄 湯田温泉他)
4日 おつとめ教室・勤式練習会
7日 組長会
11日 教堂常例法座

各法人からの県庁への書類提出期限は7月31日です。

広島県の寺院 〒730-0011 広島市中区基町 10-52 広島県庁内 環境県民局学事課
岡山県の寺院 〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6 岡山県庁内 総務部総務学事課

★未提出の場合、10万円以下の過料処罰金が発生します。お忘れなきようご留意下さい。

常例法座

(毎月11日)

出講者(敬称略)

- 4月「決して崩れない人生の意味」
神石高原町 法泉寺 川上 順之
- 5月「いつの間にやら」
福山市金江町 大東坊 那須 智雄
- 6月「ようこそ！アミダファンクラブへ」
笠岡市 蓮乗寺 田井 智彦
- ※布教団青年布教大会併修予定
- 7月「凡夫とひじりいちみなり」
福山市内海町 善正寺 那須 英信

教化資料BOX

「なるほど仏事(第15回) 門徒式章」

なるほど ぶつじ 仏事

第15回 門徒式章

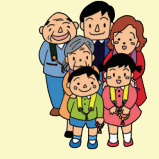



浄土真宗本願寺派備後教区
事業推進委員会

門徒式章

浄土真宗本願寺派の門徒が、仏前において、阿弥陀さまへの敬いの心をあらわす法具です。首にかけて着用します。

ご家庭での仏事(朝夕のおつとめ)は勿論、お寺での法座、法要や法事、通夜、葬儀等へお参りされる時には、聖典(お経本)、念珠、門徒式章をご持参ください。





QRコードより備後教区HPにアクセスできます。

得度許可

おめでとう
ございます (敬称略)

鴨川組 勝願寺 寺尾 連(釋白蓮)
(令和6年12月15日付)

教師授与

おめでとう
ございます

芦田組 徳円寺 田坂 恵子(釋恵心)
(令和7年1月8日付)

敬弔

お悔やみ申し
上げます

深津組 真福寺 前坊守
(令和7年1月1日寂)

鴨川組 教善寺 前住職
(令和7年1月10日寂)

世羅組 上能寺 衆徒
(令和7年2月4日寂)

三次組 浄念寺 前坊守
(令和7年2月13日寂)

鴨川北組 光明寺 住職
(令和7年2月19日寂)

御調束組 永正寺 前坊守
(令和7年3月2日寂)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

深津組 真福寺様
鴨川組 教善寺様

編集後記

この時季は、卒業や入学に代表されるように、あちらこちらで別れと出会いの場面が見られます。そして、桜の開花便りが届くようになりました。開花のみに心を奪われるのではなく、開花までの長い日々と無数の縁の積み重ねにも思いを馳せられる私でありたいです。この号も、本山御正忌の教区団体出勤をはじめ、様々な行事の報告を掲載しました。限られた誌面ですから、全てをお伝えすることが出来ずもどかしい思いもしています。一つひとつの行事には、立案から開催に向けた準備、その後の振り返りなど表には出ない積み重ねがあります。どのような行事でも、成果が見えた部分と次回への改善点が必要に存在します。国内外の状況が大きく変化する中だからこそ、「焦らず着実に」次世代への仏法相続の種まきを大切に重ねていきたいです。いつの日かお念仏の花が咲くことを願いながら。

